

西内小学校閉校記念式典が開催されました

10月28日(土)に西内小学校閉校記念式典が、上田市長の土屋陽一様をはじめ、ご来賓の皆様、学校支援ボランティアの皆様、西内小歴代校長先生、西内小卒業生の皆様、丸子中央小学校、丸子中学校の校長先生など、約180名が参加し、盛大に開催されました。

明治7年に開校して150年の歴史をもつ西内小学校の歴史を振り返り、西内小学校ならではの登り窯や金管バンドの歩みについて、当時の関係者からお話を伺いました。



登り窯については、昭和63年に登り窯第一号が作られた時、初めは登り窯ではなく学校に温泉を作りたい話や、そのときに児童だった現 PTA の方が登り窯で作品を作った時の思い出、平成6年に大改修が行われて今ある登り窯第二号が出来た話などを、旧西内小職員、焼き物クラブ会長、焼き物クラブ講師、現 PTA の4名の皆様にお話いただきました。

登り窯の陶芸に関わる多くの人々の想いによって、今日まで焼き物文化が続いてきたことを知ると共に、活動を通して学校目標「知恵とねばりと思いやり」に込められた建学の精神や、自立につながる未来を創造することに思いをはせる時間となりました。

金管バンドについては、最初に始まったときの顧問や講師の先生から初めて全国大会に出場したときなどの思い出話をお聞きした後に、現役金管バンドによる「鎌倉殿の13人のメインテーマ」の演奏、現役と卒業生による「宝島」では、金管バンドに入っていない2年生の児童も演奏に参加しました。また、東海大会で金賞を受賞した「聖者の行進」を現役金管バンドが披露しました。そして、金管講師の早川先生が所属する The Music Box の皆様による演奏があり、その後、OBOG バンドによる「Smoke On The Water」、「That's a Plenty」、「Sing Sing Sing」と、昔からよく演奏された曲が続けて演奏されました。大迫力の演奏が体育館中に響き渡り、西内らしいノリノリの発表で会場が一体となって演奏を楽しんでいました。



続いて、児童の発表がありました。本年度が始まって4月からの思い出を振り返る中で、一人一人の思いを語っていきました。これまで西内小に関わってくださった方々への感謝の思いと、丸子中央小学校との交流から感じた来年度への抱負、150年のアンカーとして、これからも前進し続ける決意を発表することができました。その後、「故郷」斉唱、「校歌」斉唱、実行委員長の挨拶の後、閉校記念式典は幕を閉じました。

閉校記念式典が閉式した後は、校庭に出て風船飛ばしのイベントを行いました。青空の下900個の風船が飛んでいく様子を眺めていると、終わりを迎えるさみしさと共に、「自ら前進」の合い言葉のように前を向いていく気持ちになりました。今後とも子ども達の頑張りをお支えいただけたらと思います。よろしくお願いします。



5年生が竹内製作所に見学に行きました



5年生が坂城町にある竹内製作所に工場見学に行ってきました。北米やヨーロッパで高いシェアを占めるメーカーさんの、製品を作る工程の工夫などについて、多くの気づきや発見があったようです。

5年生は今後も児童会の引き継ぎなどで交流が予定されています。

4年生が長野市見学に行きました



4年生が長野市見学で、県庁や善光寺、茶臼山動物公園に行ってきました。

県庁では知事室、議場、災害対策本部を見学させてもらい、善光寺では、お戒壇巡りや仲見世通りでのお買い物を体験しました。

今後も、交流学習や両校の取り組みを充実させ、新たなステージに向けて準備を進めて参ります。

【問い合わせ先】

統合委員会事務局

上田市教育委員会 教育総務課

Tell:23-5100

Fax:23-6761

丸子中央小学校

Tell:42-2112

Fax:41-1244

西内小学校

Tell:44-2300

Fax:44-2077